

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	15093
課題名	膵頭十二指腸切除術における慢性肝障害の影響に関する研究
研究期間	西暦 2015年 8月 26日 ～ 2016年 3月 31日
利用する情報、検体	■診療情報（詳細： ） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ） ※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります 西暦 2004年 1月 1日 ～ 2014年 12月 31日
研究の意義、目的	肝硬変などの慢性肝障害は、手術を行う際に術後肝不全や出血、感染などのリスクを高めるため、膵頭十二指腸切除など、体への負担の大きい手術を行えるかどうかの判断は、とりわけ慎重な判断が必要とされる。しかし、これに関してはデータに裏付けられたエビデンスがなく、各病院や医師の判断によって大きく異なっている。この研究は、膵頭十二指腸切除における慢性肝障害の影響を多施設共同研究で明らかにすることを目的としている。
研究の方法	日本肝胆膵外科学会高度技能修練施設から募った研究参加施設で、2004年から2014年までの10年間に膵頭十二指腸切除を受けた慢性肝障害を持った患者さんを対象とし、カルテ等に記載されているデータを収集、解析する。
その他	特になし
個人情報について	利用する情報からは、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。
問い合わせ等の窓口	所属：旭川医科大学 外科学 消化器病態外科学分野 氏名：今井浩二 電話番号：0166-68-2503